

都知事答弁立たず

共産党の質問 清水都議が批判

日本共産党の清水ひで子東京都議は13日の都議会予算特別委員会で、舛添要一知事が12日の同委員会で日本共産党の大山とも子都議の質問に対してほとんど答弁に立たなかったことについて、「都議会と都民に対する説明責任を回避するものだ」と指摘し、知事が答弁に立つよう求めました。

清水氏は、同委員会は一都民の負託を受け

た政治家である知事と都議が一問一答で直接議論を交わす年に1度の機会だ」と強調。ところが、舛添知事は、2月に就任して初めての議会であるにもかかわらず、知事の公約や発言に関する大山氏の質問にほとんど答弁しなかったことを批判しました。

12日の同委員会で大山氏は10回以上答弁を求めましたが、舛添知事が答弁に立ったのは1回だけ。ほとんどを局長に答えさせました。